


<p style="text-align: center;">奈良市</p> <p style="text-align: center;">手をつなぐ親の会だより</p>	<p>NO 303</p> <p>発行 会長 所在地</p> 	<p>平成23年12月2日(金)</p> <p>奈良市手をつなぐ親の会 小西 英玄</p> <p>奈良市左京5-3-1 奈良市総合福祉センター内</p> <p>Tel 0742-71-0770 http://naraoyanokai.jp/</p>
---	--	--

お母さん

久しぶりに“愛文”を書いてみませんか？

“愛文”を書いていただく相手の方は

あなたが一番愛おしく想っている方

さて 誰を思い浮かべますか？

親の会ですので、勿論『障害をもつ我が子』です。

内容は問いません。

できれば 手紙調 にしていただければ幸いです。

お母さんが書いてくださった“愛文”

もしかしたら・・・

私たちの子供は・・・

親の文(ふみ)を読むことが出来ないかもしれません。

親の願いを理解してくれないかもしれません。

それでも、良いじゃないですか

私たち、言葉がなくても・・・

繋がる『絆』を持ち合わせていますから

お互い 必要としている『家族』ですから

もし 出来れば・・・

お母さんの“愛情綴り”を多くの方に詠んでいただきたいのです。

障害をもつわが子への“愛の文”

障害をもつわが子への“永遠の願い”

これは、お母さんだからこそ出来る

“障がい者理解の教科書”となるのではないのでしょうか。

